

世界を

自分に

取り戻す

SEKAI WO JIBUN NI
TORIMODOSU VOL.9

第9回 シューレ大学・自分から始まる当事者研究イベント

2019

10.26(土) 13:30 開始
(13:00 開場)

[ゲスト] 最首悟 (思想家・シューレ大学アドバイザー)

[会場] シューレ大学特設会場 [参加費] 1000円 (研究論文集付き)

[主催] シューレ大学 (NPO法人東京シューレ) <http://shureuniv.org/>



世界を自分に 取り戻す



シューレ大学

自分から始まる当事者研究イベント

シューレ大学では当事者研究とも言える形で「自分から始まる研究」として、今の自分にのっぴきならないことや、知りたい・深めたいと思うことからテーマを設定し、それぞれに探求を積み重ねてきました。どの研究にも共通するのは、自分の生き難さを解体し、より自分の求める生き方を感じ捉え続けやすくするための研究であるということです。自分が感じ考えてきたことだけでなく、その自分がどのような社会で影響を受けて生きているのかを視野に入れて捉えなおすことで、生き難さを解きほぐすことにつながっているように思います。この私たちの発表で、変えることのできないように感じる閉塞感に穴を穿つ方法の提案になることを期待しています。

[今年度の研究テーマ]

- 尊重し合う関係はどうすればつくっていきけるか。
 - 私はどのように女性的であることを避けているのか。
 - 「物事を説明することが苦手な自分」への否定感とは何か。
 - 「コミュ障」な自分を知られたくない／本当の自分を知ってもらいたい葛藤。
 - 「できない」ことを意識する時の苦しさを解体する。
 - 私の〈許されない行為〉とは何か。私は本当に黒いのかを探る。
 - 私はどのようにして、自分にとって大切な絵が描けなくなるのかを解体する。
- ※当日発表する内容と一致しないことがあります。

ゲストスピーカー



最首 悟 さいしゅ・さとる

1936年生まれ。東京大学助手時代から全共闘運動や水俣病問題に積極的に取り組む。また、愛娘・星子が障害を持って生まれて来たことから、障害者問題へも深く関わってきた。和光大学名誉教授。著書に『星子が居る』（世織書房）、『「瘡」という病からの一水俣誌々・パート2』（どうぶつ社）ほか。

ご予約について

E-mail univ@shure.or.jp

電話 03-5155-9801 (平日10時～19時/水曜日のみ13時～19時)

FAX 03-5155-9802

※「お名前」「参加人数」「電話番号」をお知らせください。

※ご予約いただかなくても参加は可能です。会場が満席になった場合は、立見になる事がございます。あらかじめご了承ください。

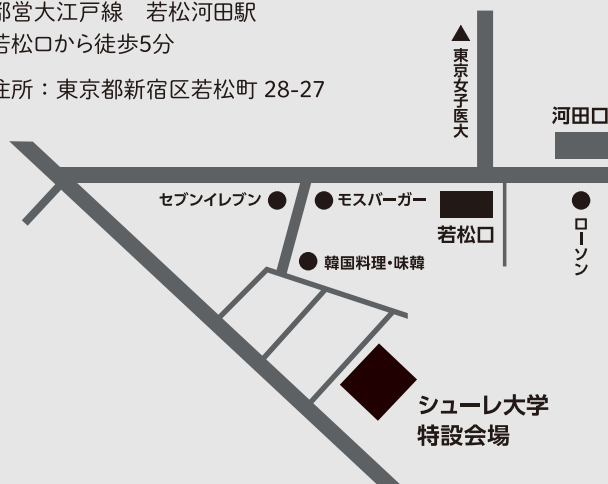
会場

シューレ大学特設会場

都営大江戸線 若松河田駅

若松口から徒歩5分

住所：東京都新宿区若松町 28-27



What's Shure University

99年にフリースクール東京シューレを母体に、若者とスタッフで設立した。知る・表現するという自分を自分のスタイルで進めることで、自分とは何かを問い、自分の生き方を創り出すということを模索する場となっている。現在、学生30人、スタッフ4人に、原一男を始め、平田オリザ、最首悟、上野千鶴子ら様々な分野のアドバイザーが約50人いる。

HP : <http://shureuniv.org/>

Twitter : @shureuniv

Facebook : www.facebook.com/shureuniv

